

「2025年度香港中文大学サマープログラム派遣参加報告書」

京都大学文学部2年 北居 由鈴名

- ① 私はもともと中華圏の歴史や文化に興味があり、留学によってその空気を現地で体感できるかもしれないと思い今回のプログラムに参加させていただいたのですが、大きく変わった点としては、自分が今まで知らなかった世界をより積極的に知り、視野を拡張していこうと思えたことです。京大生のみならず様々な大学や外国から来ている人とのコミュニケーションや助け合い、そして自分自身で工夫をすることを必要とした集団生活という、家族のような身近な人がいないからこそできる体験を実際にしたことで、未知の境地への潜在的な抵抗感が減り、大学での学びにおいて少しでも興味があることは何でも挑戦してみようという意欲が強まりました。また、中文大学での中国語の授業では先生や生徒との対話が濃厚であり、京大での学習だけでは得られなかった中国語を実際に「使う」という感覚を強く体に刻むことができました。英語を併用していたため、英語と中国語間の意味関係も理解でき、さらには英語を使って物事を学ぶという経験を増やしたことで、今後の進路として検討している国際的活動において多くの有益なことを得られたと感じています。次の海外留学では、期間を長くすることでより自立心を向上させることや、学んだ中国語を実践的に使ったコミュニケーションを行うことを目指し、香港のみならず中国本土で開催される様々なプログラムに参加していこうと考えています。そして留学生活そのものに慣れた後に長期の交換留学へ赴き、さらなる教養と関心を深めていきたいです。
- ② 海外での経験を家族ではない人と共に経たのは初めてで、最初は現地で生活していく中で支払い手段や水回り事情など、日本と異なる部分が多くあったことについてしまい、なかなか馴染むことができず大変でした。しかし、周りの学生や現地の人々の皆さんが本当に親切で優しい人だったため、困っていた自分を常々助けてくださり、感謝の気持ちと信頼感をもって徐々に集団生活に慣れていくことができました。また、助けてもらうばかりではなく自分であれこれと考えて工夫しないといけない場面もあったため、俯瞰力と自律的な行動力を高めることができたという意味でも大きな意義があったように感じています。
- ③ プログラムの内容としては、平日に中国語の文法と会話をテーマにした授業があり、休日には香港の街中を散策したり、香港グルメを楽しめたりするツアーがありました。また、オプションアクティビティとして中国茶を淹れたり、はんこを作ったりといった体験をしました。授業では先生との距離が近く、熱心に発音や文の組み立て方などを教えてくださり、特にリスニング力とスピーキング力が大いに向上しました。ツアーやアクティビティでは他大学や他国の学生と一緒に、中華圏ならではの芸術的世界観や食文化のみならず、西洋文化との融合が生み出した数々の印象深い文物や風景にふれていったことで、香港特有の魅力とそこでの暮らしの楽しさをしみじみと体感することができました。総じて、将来的に必要なコミュニケーション力や東洋史学研究の際に参考になる材料を得られたと思っています。
- ④ 今後は大学院に進学して東洋史学の研究を続けていくつもりですが、今回のプログラムで会得した多くの語学学習成果や中国文化に関する知識、さらには自分の興味に従いつつも、コミュニケーションや学問などにおいて未知の世界を恐れず探求していくという経験を積み重ね、それに基づいてまだ知られていないような東洋文化の側面や意義を発見できればと思っています。また、その研究成果を自分の創作活動にも生かし、絵やアニメーションといった芸術作品を通して世界の人々に新たな知を授けるのみならず、自分にとって馴染みのないような物事に対し、あえて積極的にふれたり挑戦したりすることの楽しさ、大切さを実感する機会を与えたいと考えています。